

事 業 計 画 案

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

【事業の柱】

① 分科会活動の支援

明確な活動目的のもと、会員が主体的に取り組む分科会を設立し、その活動を支援する。分科会では、勉強会や実証試験、外部への情報発信、他団体との意見交換会など、企業主導型の活動を実施する。

② 開発の支援

ドローンの機体や付属装置、ソフトウェア等の開発や、ドローンを活用したサービス等の開発を支援するとともに、ドローンによる先駆的な実証実験を公開することで実用性を広く一般に周知するために社会実装の促進を支援する。

③ その他の取り組み

専門技術に関する人材育成や会員間のマッチングを通じて事業力の向上を図る。会員企業等の取組に関する情報発信や、他機関等との連携によってビジネス展開を促進する。プラットフォーム事業など県事業との連動を通じて、ドローンビジネスの活性化を図る。大分県産業科学技術センターや他のドローン関連機関との技術連携を図る。

1. 総会の開催

新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から、定時総会を書面開催する。

また、基調講演、取組紹介については、令和 3 年 6 月 18 日に WEB でドローン産業振興セミナーとして開催する。

2. 企画委員会の開催

協議会の事業活動や予算について協議する。

3. 活 動

事業の柱や会員のニーズ、企画委員会での企画・検討をもとに、以下の事業に取り組む。

(1) 分科会活動事業 【新】

令和 2 年度に検証として立ち上げた分科会での意見交換をもとに、活動目的を明確にした分科会を設立し、その活動を支援する。分野ごとのドローンビジネスの現状把握や課題の収集、メンバ間の連携や協業の促進、自治体の関係部署との連携などを通じて、技術の向上やビジネスプラットフォーム事業者との連携、ビジネス展開につなげる。

測量・点検・調査分科会：令和 3 年 4 月～

観光・教育・エンタメ分科会：令和 3 年 5 月～

(2)開発支援事業

従来の「製品開発」「ソフト・サービス開発」を統合するとともに、「社会実装促進」を支援する補助金を公募する。

- ①研究開発支援： ドローンの機体や付属装置、ソフト、サービス等の開発に対する経費を補助する。補助率 2/3、上限 5,000 千円、3 件程度を採択予定。
- ②社会実装促進支援： 公開実証実験等に要する経費を補助する。補助率 1/2、上限 1,500 千円、3 件程度を採択予定。

(3)人材育成事業

分科会のニーズなどをもとに、実用性や将来性、ビジネス性などを学習・研究する場として、特殊用途や専門技術など、高度なドローン活用に関する研修を開催する。

(4)情報発信事業

協議会や会員企業等の取り組みを広く発信してマッチングやビジネス展開を図るために、会員企業等の手掛ける事業や保有ドローン、オペレータなどの情報をまとめた電子カタログや、開発支援事業における採択テーマ等の内容を紹介する映像を制作し、ホームページや動画サイト等へ掲載する。

県内のドローン産業振興を目的として、ドローンに関する先進的な団体・機関との連携などに取り組む。県におけるドローン関連事業や、九州広域の取り組みとも連動し、技術情報の獲得やニーズに基づく開発、ビジネスチャンスの創出や拡大につなげる。

(5)コーディネーター事業

会員企業における事業の支援や、自社技術の強みを生かす連携、事業力・営業力の向上を目的とした会員間のマッチング等に取り組む。令和 2 年度に新設されたドローンビジネスプラットフォーマーと連携しながら産業用ドローンに関するニーズ収集や、会員企業等のシーズとの橋渡し、ネットワーク構築のサポートなどを実施する。

(6)その他

- ①大分県や九州が取り組む各種のドローン事業に対して積極的に参加、連携を図る。
- ②令和 2 年度に締結した、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）ワイヤレスネットワーク総合研究センター、福島ロボットテストフィールド、大分県産業科学技術センターにおける連携協定にもとづき、産業科学技術センターを拠点としてドローンの安全な運用などに必要な試験方法の検討やドローンアナライザの活用、事業展開等に取り組む。

令和3年度 収支予算(案)

自: 令和3年4月1日 至: 令和4年3月31日

【収入の部】

(単位: 円)

科 目	令和3年度予算額 (A)	令和2年度予算額 (B)	増 減 (A)－(B)	備 考
会費	1,800,000	1,900,000	△ 100,000	年会費10,000円×180社 (見込み)
負担金	24,639,024	27,136,000	△ 2,496,976	大分県負担金
繰越金	2,987,782	4,345,682	△ 1,357,900	
計	29,426,806	33,381,682	△ 3,954,876	

【支出の部】

(単位: 円)

科 目	令和3年度予算額 (A)	令和2年度予算額 (B)	増 減 (A)－(B)	備 考
普及啓発事業費	0	200,000	△ 200,000	
旅費	0	0	0	
報償費	0	0	0	
使用料及び賃借料	0	200,000	△ 200,000	
人材育成事業費	2,200,000	1,140,000	1,060,000	
報償費	250,000	500,000	△ 250,000	講師謝金
旅費	320,000	640,000	△ 320,000	講師旅費
委託費	1,600,000	0	1,600,000	セミナー企画開催委託費
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	講習会会場使用料
技術・製品開発支援事業費	19,538,400	24,539,000	△ 5,000,600	
報償費	36,000	36,000	0	審査会委員謝金
旅費	2,400	3,000	△ 600	審査会委員旅費
補助金	19,500,000	24,500,000	△ 5,000,000	①製品開発: 500万円×3件、②社会実装促進: 150万円×3件
情報提供と連携事業費	1,805,000	4,985,000	△ 3,180,000	
旅費	150,000	320,000	△ 170,000	学会等旅費
印刷消耗品費	0	80,000	△ 80,000	
役務費	0	2,000,000	△ 2,000,000	
委託料	1,600,000	1,600,000	0	電子カタログ、プロモーション動画制作費
使用料及び賃借料	0	160,000	△ 160,000	
負担金	55,000	825,000	△ 770,000	学会等参加費
コーディネーター事業費	1,016,000	1,076,000	△ 60,000	
報償費	720,000	870,000	△ 150,000	コーディネーター謝金
旅費	296,000	206,000	90,000	コーディネーター県内外旅費、通勤費
分科会活動費	3,000,000		3,000,000	
助成金	3,000,000		3,000,000	助成金: 100万円×3分科会
テストフィールド活用	0	122,000	△ 122,000	
補助金	0	122,000	△ 122,000	
総会等開催費	1,080,000	638,000	442,000	
報償費	180,000	60,000	120,000	講師謝金
旅費	200,000	128,000	72,000	講師旅費
食糧費	300,000	300,000	0	交流会費
印刷消耗品費	100,000	0	100,000	資料印刷費等
使用料及び賃借料	300,000	150,000	150,000	講演会会場費
事務局経費	787,406	681,682	105,724	
旅費	218,000	356,000	△ 138,000	事務局員調査等旅費
食糧費	20,000	20,000	0	会議茶代等
印刷消耗品費	200,000	200,000	0	事務用品費等
役務費	214,166	105,682	108,484	郵便、宅配、ビジネスダイレクト、通信費
使用料及び賃借料	135,240	0	135,240	事務局PCリース料、高速道路料金
計	29,426,806	33,381,682	△ 3,954,876	